

熊日学童オリンピック総合開会式に初参加!

7月8日 熊本県立総合体育館

熊本県小学生のスポーツの祭典、第38回熊日学童オリンピックの総合開会式が7月8日(日)県立総合体育館メインアリーナで開催された。今年からテコンドー競技も正式参加となり、今回は阿蘇・不知火の選手10名が堂々の入場行進を行った。総合開会式には、17競技総出場選手約15,000人の代表選手200人が参加して行われ初出場のテコンドーも入場時に紹介されるなど注目を浴びていた。

テコンドー競技の日程は、9月2日(日)熊本市龍田体育館でキヨルギ(個人戦・団体戦)、ブンセ(個人戦・団体戦)を開催予定。



開会式

夏季昇級審査に115名が受験! 7月29日 県民運動公園体育館

夏季昇級審査会は、県内、各支部道場、大学などから115名が受験し、基本、移動基本、ブンセ、キヨルギなどに、受験者は、合格目指して真剣に取り組んでいた。

また、7月11日の九州北部豪雨で阿蘇市の地元、阿蘇支部内で被災した会員宅へ県協会、各役員、支部長、昇級審査受験者、父兄などから募金を募り、西村紀幸阿蘇支部長へ手渡された。一日も早い復興を祈念したい。



昇級審査会の様子

夏季強化トレーニングに述べ120人が参加! 8月4~5日 熊本大学体育

強化委員会が中心となり実施された夏季強化トレーニングは、熊本大学体育館に、県内そして特別参加として、元全日本強化指定選手で世界選手権など国際大会経験の豊富な富安美絵子氏、同じく福岡県からの3名が参加し、2日間、述べ120人が参加して行われた。

午前中に体力訓練、午後はミット蹴り、キヨルギ中心のメニューで行われ、真夏の体育館の熱気の中、参加者は暑さと戦いながらハードな練習に挑んでいた。



夏季強化トレーニングの様子

韓国合宿に5名が参加! 8月7~16日 韓国・豊生高校

選手強化委員会は、大学生を中心とした5名を韓国、名門高「豊生高校」へ約一週間の強化合宿として同校テコンドー部(李キヨンペ監督)の練習に参加した。

韓国での練習が初めての神垣貴晶、土師正穂選手(熊大)同校では数回練習経験のある中山北斗、阪上弘一(学園大)中学生で初参加の廣田龍信選手(武道館)が本場韓国のハードな練習に取り組んだ。12日、樋口清輝選手強化委員長が母校でもある同校を訪れ、合宿参加の選手や同校へ留学中の西村純選手を激励した。

樋口会長、バトミントンロンドン五輪報告会に出席!

8月25日 全日空ニュースカイホテル

ロンドン五輪バトミントン競技で、バトミントン史上初のメダルを獲得した藤井、垣岩ペアの五輪報告会が行われ、約380名が出席した。樋口会長も県体育協会加盟競技団体として出席、村田副知事、幸山熊本市長が「熊本の誇り、県民に多くの感動を与えてくれ感謝します」と藤井、垣岩ペア、末継、前田ペアの4名を労った。4名は「バトミントン競技を続けて来てよかったです。応援していただいた皆さんに感謝します」と語った。

バトミントン協会の工藤勇参先生(現熊本中央高校)は熊本市テコンドー協会の顧問に就任していただいており、工藤先生のこれまでの努力が実を結んだ結果である。県バトミントン協会の益々のご活躍を祈念したい。



藤井選手と(芦北町出身)

RKKラジオに生出演 8月27日 本部道場

RKK熊本放送の人気番組「とんでもワイド・おはよう元気」に今回、熊日学童オリンピック(9月2日開催)に向けて練習に励む子供たちへの取材があり、27日、協会本部道場に集まった6名が、樋口清輝支部長の指導の下、約1時間の練習を行った。番組は9時27分から生放送でオンエアー樋口会長、子供たちへのインタビュー、練習の様子を約5分程度伝えた。

また8月18日(土)にはTKUテレビの人気番組「若つ人ランド」に熊本大学テコンドー部が出演するなど、テレビ、ラジオでの取材が相次ぎ、テコンドーのPRに一役かつたと言える。



RKK取材

テコンドーくまもと Vol.38

TAEKWONDO KUMAMOTO 2012.5▶2012.8



全日本ジュニア 熊本県選手団

全日本ジュニア 廣田翔栄選手2連覇! 县勢5名入賞! 7月22日 長野県松本市総合体育館



米田 優選手(赤)

廣田翔栄選手(青)

10階級で優勝 30個のメダル獲得 全九州選手権! 8月19日 佐賀県総合体育館

第23回全九州選手権大会は、九州各県から251名が参加して盛大に開催された。開会式では、佐賀県出身でロンドン五輪5位と健闘した濱田真由選手が「皆さんの応援ありがとうございました。次のリオ五輪に向けて皆さんと共に頑張りましょう」とあいさつ。その後、幼児から一般までの31階級で熱戦が繰り広げられた。

今回、県協会からは小学生から一般までの47名が出場し、実施階級31階級の中、10階級で優勝。9階級が準優勝。3位入賞が1名の30個のメダルを獲得する好成績となった。特に一般男子では-54kg級で津田輝史朗選手が初優勝。-63kg級では中山北斗選手が、-74kg級では阪上弘一選手(4大会連続)が優勝。+85kg級では牧野信一選手(4大会連続)が優勝を飾り実施6階級の中4階級を制した。-58kg級で決勝に進出した工藤雅生選手は、惜しくも福岡の谷川選手に敗れたが、熊大テコンドー部に入り2年間という短い期間で激戦のこの階級決勝まで進んだことは大健闘と言える。

また、中学生では中量級で西田亮選手、重量級で廣田翔栄選手が女子軽量級で西村真利愛選手。小学生では、小学6年重量級で森永修斗選手がそれぞれ昨年に続く連覇を果たした。

最優秀選手には、圧倒的な強さで勝利した阪上弘一選手が選ばれた。



KTA
KUMAMOTO
TAEKWONDO
ASSOCIATION

発行 熊本県テコンドー協会 / 熊本市南坪井町 4-23 MTビル 1F TEL&FAX 096-206-1772

ホームページ ▶ <http://www.kumamoto-taekwondo.jp>
Eメール ▶ info@kumamoto-taekwondo.jp

大会ハイライト

MVPは中山北斗選手!県学生選手権! 5月13日 熊本学園大体育館

第18回県学生選手権大会並びに第44回熊本地区大学総体育大会テコンドー競技は、13日、学園大体育館に崇城大、熊本大、学園大からの選手が参加して開催された。今回は、男子の63kg級、63kg以上級の男子2階級で行われた。63kg級では中山北斗選手、63kg以上級では今年の全日本74kg級を制した阪上弘一選手の共に熊本学園大が2階級を制覇した。

大会終了後、各大学の監督、主将による学生会議も行われより活発な意見が出された。

HIGHLIGHT

※大会結果の詳細はホームページに掲載



63kg級決勝

熱戦 第18回県選手権! 6月3日 宇土市民体育館



-63kg級決勝

ジュニアキョルギ

ジュニアは武道館支部、一般は熊本大が躍進! 熊本市選手権大会 7月8日 熊本県民運動公園体育館

第4回熊本市選手権大会並びに第3回熊本市杯スポーツ大会テコンドー競技は、熊本市テコンドー協会に加盟する9道場、3大学から75名が出場してブンセ個人、団体、キヨルギの2競技で開催された。

開会式では筑紫汎三、熊本むくげの会会長が「何事にも感謝する心を養うことが大切」と選手を激励。その後、ブンセ競技から実施。今回、入門してまもない選手による初級クラスの試合も実施、中段だけの攻防に限定し安全面を考慮したルールで行われた。

最優秀選手には小学3・4年男子の部で優勝した野満恵太選手(武道館支部)とブンセ競技で優勝した元満文音選手(熊本大)が選ばれた。



開会式 来賓挨拶 筑紫汎三(県協会相談役)

国際チルドレンゲーム 西田亮選手ロシア選手破り銅メダル 7月13~16日 韓国・大邱市啓明大

第46回・国際チルドレンゲームスは、世界37の国や地域から80都市、1800人の選手が集い韓国、大邱市で盛大に開催された。

この大会は12歳から15歳までを対象とした1968年からヨーロッパを中心に広がったスポーツによる国際交流の歴史ある大会今回、陸上、水泳、バスケットボール、テニス、卓球、バレーボール、テコンドーの7競技が実施された。日本からは、熊本、大阪から7名の選手が出場。県協会からは-50kg級に廣田翔栄選手(武道館) +50kg級に齋藤正宗選手(宇土) 西田亮選手(不知火)が出場、廣田選手は、初戦でギリシャの選手と対戦、相手のペースで終始リードされ、13対4で完敗。続く齋藤選手も初戦でロシア選手と対戦、ポイントを先取したものの、上段への蹴りでポイントを取られ11対5で敗退、最後の砦となつた西田亮選手は初戦を韓国選手と対戦、接戦の末2対1で勝利し、次の日に行われた準決勝にコマを進めた。準決勝の相手は、地元大邱の韓国選手、健闘するも15対8で敗れ、3位決定戦を、齋藤選手に勝ったロシア選手と対戦、序盤から積極的に攻め2ラウンド後ろ蹴りがヒット。2ポイントの差をつけ7対5で、銅メダルを獲得した。

今大会はヨーロッパ等の国も多く参加し、国際大会経験の少ない県選手にとってはいい経験となった。



西田選手(青)



表彰式

大会ハイライト

山本悠菜選手、飛田愛斗選手がそれぞれV! ライツオープン 8月26日 大阪市水の館ホール



山本悠菜選手



飛田愛斗選手

ライツテコンドークラブ(代表・山下昭子)主催のREIZ TAEK WONDO CUP2012大会は関西地区を中心に約130名が参加して開催された。

県協会からは、熊大、阿蘇、菊池の各支部から10名の選手が参加、小学生女子30kg級で山本悠菜選手と米田優選手の同門決勝となり7対6で山本選手が優勝、米田選手が準優勝となる嬉しいワンツーフィニッシュとなった。また、小学生男子26kg級では、飛田愛斗選手が優勝、一般の部では、熊本大の前田拓寛選手が、初級の部68kg級で準優勝、中学生女子43kg級では西村真利愛選手が3位に入賞、10名出場の中、5名入賞の活躍となった。

今回、全日本ジュニア選手権の上位入賞者も数多く参加しておりレベルの高い試合となった。

NEWS&TOPICS

協会ニュース&トピックス

平成24年度加盟団体総会開かる! 5月19日 県協会本部道場

本年度の加盟団体通常総会は、県内各支部、大学などから代表者15名が出席して開催された。冒頭、樋口会長より「本年度はオリンピックイヤーであるし、日本からも2名の女子選手が出場することとなった。絶好の普及の機会と、とらえて各団体は、更なる普及に力をいれてほしい」とあいさつ。その後、昨年度の事業報告、収支決算報告、本年度事業計画等が、審議、承認され終了した。



総会の様子

平成24年度春季指導者講習会開催! 5月20日 託麻北地域コミュニティセンター

本年度、春季指導者講習会は、各支部、大学などの指導者が参加して行われた。講師は樋口会長が務め、午前中は主に指導者としての役割、テコンドーの歴史等の講義、午後はブンセを主体とした実技講習が行われた。初めての参加者多く、講義にブンセにと熱心に受講していた。講習会終了後、近くの飲食店で食事会を行い、意見の交換などが行われた。

県協会では、平成11年から毎年、年に数回、指導者の講習会を実施して指導者の育成に力を入れている。



指導者講習会の様子

アジア太平洋聾啞者スポーツ大会開会式に参加 5月26日 ソウル 蚕室内体育館

第7回アジア・太平洋聾啞者(聴覚障害者)スポーツ大会は25カ国1300人、テコンドーを含む14競技が1週間に亘り盛大に開催された。

日本選手団は、最多の194人が参加。今回、テコンドー競技が正式競技として実施されiran、インドネシア、韓国など8ヶ国の選手が参加した。昨年、社団法人世界障害者テコンドー協会(WTFD)が設立されたが、今回、日本では樋口悦夫県協会会長が日本支部長として認定され、津田佳輝常務理事、樋口清輝理事とともに開会式に招待された。WTFDは現在、世界10ヶ国が加盟、今後、普及活動を推進して、テコンドーのパラリンピック参加を目指す。また27日、京畿道城南市で開催されていた第41回全国少年(中学生)大会を視察、豊生高のイキヨンベ先生、留学2年目となる西村純選手と面会。久しぶりの西村選手は、身長も伸びた様で、豊生高での厳しい練習に日々頑張っている様子で、元気な姿を見てくれた。



入場行進 日本選手団 194名



障害者国家代表演武団と記念撮影